

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 小春の家作成日: 平成 30 年 5 月 24 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的で開催しているが、参加者が少ないので、会議の内容が画一化し、ホームからの報告が主になっている。新しい参加委員を募り、会議の内容や議題を再検討して、サービスの向上に繋げていく。	参加委員を増員し、複数の民生委員や地域で活動している有識者、知見者、他事業所の管理者等の参加を募り、会議に新しい風を入れてホームの繁栄だけでなく、参加委員にとっても知識や情報を得る有意義な会議となる取組みを行っていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と若手の職員では、介護に対する考えや経験に差があるため、同じレベルの介護サービスの提供を目標とし、誰がサービスを提供しても、利用者の安心に繋がる取り組みを実践していく。	職員の経験や意欲に配慮しながら外部研修に派遣したり、ホーム内での伝達研修や勉強会を充実させる等、介護の知識や技術の向上を目指す取り組みを実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。